

研究キーワード: 建築計画学、とくに人間の心理・行動に基づく環境デザイン

最近の研究課題

1. 建築デザインに関する研究

超少子高齢社会のなかで、従来の制度的枠組みにとらわれない福祉施設が建設されるとともに、安心と安全が保障された環境の重要性への認識も高まるなど、今後の地域福祉のあり方には新しい知見が求められています。

そこで、高齢者や障がい者など多様なユーザーの特性を踏まえた空間デザインの検討とともに、充実した地域生活のための生活環境や施設のあり方に関する研究に取り組んでいます。

加えて、北欧での調査から我が国の課題をより明確にし、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で共に暮らしていける社会システムの構築および施設計画に向けて提案することを目指しています。

さらには、南海トラフ地震への対応が強く求められているなか、高齢者や障がい者の防災対応力の向上に寄与する建築デザインについての研究も進めています。

2. 離島集落の持続的居住に関する研究

我が国の人々が住む300余島のうちの約半数が瀬戸内海に集中しています。離島という限られた領域内に自然発生的に高密度な居住空間が形成されてきたことから、今も濃い地縁から成るコミュニティが残っています。

しかしながら、過疎化・高齢化の進行に伴う空家・空地の著しい増加が地域社会の弱体化・脆弱さをもたらし、共同体の成立が危ぶまれています。

そこで、集落のコミュニティを持続させるための方途を検討するとともに、これまでの研究の成果を活かした実践活動にも取り組んでいます。

高校生の皆さんへ

建築学には、建築に関する計画・意匠などのデザインの分野と構造・材料などの工学的分野がありますが、私の専門の建築計画は前者に当てはまります。

これまで、高齢者・子ども・障がい者のニーズに即したデザインや住空間について、ハード・ソフトの両面から研究するとともに、福祉施設への設計協力、計画協力、アドバイスなど自身の研究の成果を活かした実践活動にも積極的に取り組んできました。これからも、「その人らしさ」を持ち続けられる環境づくりに貢献したいと考えています。

連絡先: fujii@eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]